

一般
質問

議員 5 人

一般質問は議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。吉岡町では、質問および答弁をあわせて、1人60分の持ち時間があります。

9月定例会の一般質問は2日および5日に行われました。紙面の都合により要約してお伝えします。

なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある会議録で確認できます。

また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、吉岡町ホームページでもご覧になれます。

■大林 裕子議員（15ページ）

1. 障がい児への支援について
2. 子ども達をめぐる諸問題について
3. 県道高崎渋川バイパス道路に関連して

■柴崎 徳一郎議員（16ページ）

1. 子ども・子育て支援事業について

■金谷 康弘議員（17ページ）

1. 防災教育について
2. 公共施設における点検・報告業務について
3. 法改正された防火シャッターについて
4. 上野田地区農業集落排水施設について
5. 交通安全対策について

■山畑 祐男議員（18ページ）

1. 防災について
2. 男女共同参画事業への対応は
3. 義務教育での部活動について

■小池 春雄議員（19ページ）

1. スラグ問題
2. 高齢者福祉対策

町政を問う



インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。

アクセス方法は

吉岡町議会

検索



大林裕子 議員

学童クラブへ障がい児の受け入れを

答 課題を1つずつ解決して実施となる

問 学童クラブへの障がい児の受け入れについて、まちの考えは。

答 町長 学童クラブは、特別支援学校の児童も含むもので、考え方は法令通りと思う。

問 障がいのある児童と、ない児童が一緒にいることは大切。受け入れへの意識を持って進めてもらいたい。

答 町長 3から4年サイクルになるのかと考える。

スマホのトラブルから小中学生を守るためのルール作りとまちの支援を

自らルールを作り、

それを支援していくことは可能

問 スマホや携帯電話のトラブルから小

中学生を守るには、具体的なルール作りと、

答 町長 課題を一つずつ解決し、実施となる。

問 駒寄小体育館建て替えの進捗状況は。

答 教育委員会事務局 長 規模について年内に研究懇談会を予定。建設期限を設けることが必要では。

問 教育委員会事務局 長 3から4年サイクルになるのかと考える。

まち全体の取り組みが必要では。

答 教育委員会事務局 長 児童・生徒が自らルールを作り、教育委員会、学校、保護者らが支援していくことは可能と考える。

問 ぜひ、まち全体で支援体制を。

答 教育委員会事務局 長 県教育委員会の方針が出たら、進めたい。

問 通学路の防犯灯は複数の自治会に及ぶため、まちも窓口に

なり連携してもらいたい。

答 町民生活課長 役場には要望があった場合は、要望の自治会

につながるよう、各課に話したい。

問 自治会の協力の下、まちが設置から管理まで行う仕組みに替えては。

答 町長 いろいろ考え、いずれその方向に出せればと思う。

問 身近な公園に遊具がほしいとの声が多い。町内で遊べることは、まちのよい魅力になるのでは。

答 総務政策課長 各公園の目的などを踏まえ、遊具の整備を検討したい。

問 昨年要望した県道高崎渋川バイパスに接続する、町道庚申塚5号線の拡幅の進捗

状況は。



拡幅が待たれる町道庚申塚5号線

状況は。

答 町長 渋川市との地域連携協議会で事業化に向け進めてい

る。来年度、概略設計・地元説明会を行う予定。



柴崎徳一郎 議員

新設「認定こども園」の整備進捗は

答 来年3月中旬竣工予定

問 新設「認定こども園」の整備進捗状況は。

答 健康福祉課長 7月初旬着工、来年3月中旬竣工予定。

問 こども園の名称は。

答 健康福祉課長 「幼児連携型認定こども園駒寄幼稚園」。

問 新制度の形態は。

答 健康福祉課長 幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持った施設。

問 機会の均等性・公平性ある、子どもとの交流体験事業の考えは。

答 教育委員会事務局 長 大樹町こども交流事業以外は考えていない。

問 本年度の大樹町交流事業に係る総事業費は。

答 財務課長 537万2千円を計上。

問 子どもを「ほめて育てる」ことを研究されている。

答 教育委員会事務局 長 学校現場では、「ほめる」と「しかる」を適切に対応している。

問 子育ての相談事業への展開は。

答 町長 新設の「こども福祉室」と保健センターを核に展開している。

保健センターを発達障がいに悩む保護者の交流場所に

まちの支援事業を実施できるよう、

検討を重ねたい

問 発達障がい児の早期発見・介入への対応策は。

答 町長 早い段階での養育支援ができるよう、体制強化と保護者への育児不安軽減に取り組む。

問 発達障がい児相談窓口の常設を。

答 町長 子育て全般に渡り、保健センターで随時相談を受けている。

問 ペアレント・メンター育成事業をま

ちで試みたら。

答 町長 有効な手段と思われる。情報提供に尽力、検討したい。

問 発達障がい不安を抱える保護者の交流場所に、保健センターの開放を。

答 町長 まちの支援事業を実施できるよう、検討を重ねたい。

問 まち図書館に世界中の絵本を並べ、保健センターと連携して子育て支援を。

答 町長 館内のスペースなど検討したい。

問 教育行政トップリーダーとして、子育て方針は。

答 教育長 県の家庭教育応援条例に規定されている、各役割を基本として考える。



絵本の読み聞かせに見入る子どもたち（吉岡町図書館）

ミニ解説

ペアレント・メンター 発達障がいのある子どもを育てた経験がある保護者などが、メンター（良き相談相手）として、さまざまな子育て経験を提供する。



金谷康弘 議員

「釜石の奇跡」を省みて防災教育の充実を

答 学校現場の意見を参考に対応したい

問 「命の大切さ」「危機に向かい合う姿勢」「困難を乗り越える力」「その中で弱い者への配慮」など、生きることそのものを学ぶ「防災教育」について、学校での現状と今後の対応は。

答 町長 給食センター・文化センター・社会体育館・保健センター・老人福祉センター・隣保館・学童保育所・児童館・役場庁舎・コミュニティセンター・町営住宅・リハビリピア吉岡で6ヵ月ごとに点検し報告書を消防署へ提出している。また、是正事項は軽微なもので、速やかに対応している。

問 「釜石の奇跡」のように防災教育はしていないが、災害時「自分の命は自分で守る」ことの必要性について学校現場の意見を参考に、対応していきたい。

答 町長 文化センター
「消防設備の点検・報告」に該当する施設は。または是正事項は。

問 建築基準法第12条の特殊建築物の定期報告に該当する施設は。また、是正事項は。

答 町長 文化センター
1・社会体育館・1・コミュニティセンター

問 町長 文化センター

答 町長 文化センター
1・社会体育館・1・コミュニティセンター

で報告は済ませてある。教育委員会事務局長は是正事項として、文化センターの壁、タイル

面クラック、シール劣化による漏水などがあり、予算措置を行い補修・修繕を行う。

危害防止装置のない防火シャッターの対応は

安全確保のため設置したい

問 事故が多発する防火シャッターで

答 町長 文化センター
1・社会体育館・役場庁舎にはなく、今後危害防止装置を取り付け安全確保を図る。

集落排水施設に、時折処理能力を超える流入量がある。雨水に起因する不明水の存在で、施設に支障をきたしている。まちはいかに対応しているのか。

答 町長 大松周辺は、交通安全事故が多いため、交通安全対策をする。

問 まちで一番交通事故が多い大久保「大松」信号周辺道路の、交通安全対策をする。

答 町長 大松周辺は、交通安全対策をする。



注意喚起が必要な事故の多い大松信号周辺

定例会

一般会計

特別会計

委員会審査

補正予算他

賛否一覽

一般質問

臨時会他

まちの散歩道他